

新!あきない☆会計塾

~会計で中小企業を元気にする~ [第3講]

ひょうご税理士法人
(認定経営革新等支援機関)
公認会計士/税理士 妹尾 芳郎
URL <http://senoo.net/>

せのお よしろう



皆さんこんにちは。再び各地で新型コロナウイルスが猛威を振るってきております。最前線で治療にあたっていただいている医療従事者の皆様には感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございます。私も自分にできること、「会計」で皆様のお力になれるよう尽力していきます。

さて、本講のテーマは『利益計画はG(経常利益)からの逆算で作成する①損益分岐点を超えたMQはすべてGになる』です。前講に引き続き、田古(タコ)社長のお店「タコ山」を例に取り上げていきます。

☆利益計画はG(経常利益)からの逆算で作成する

①損益分岐点を超えたMQはすべてGになる

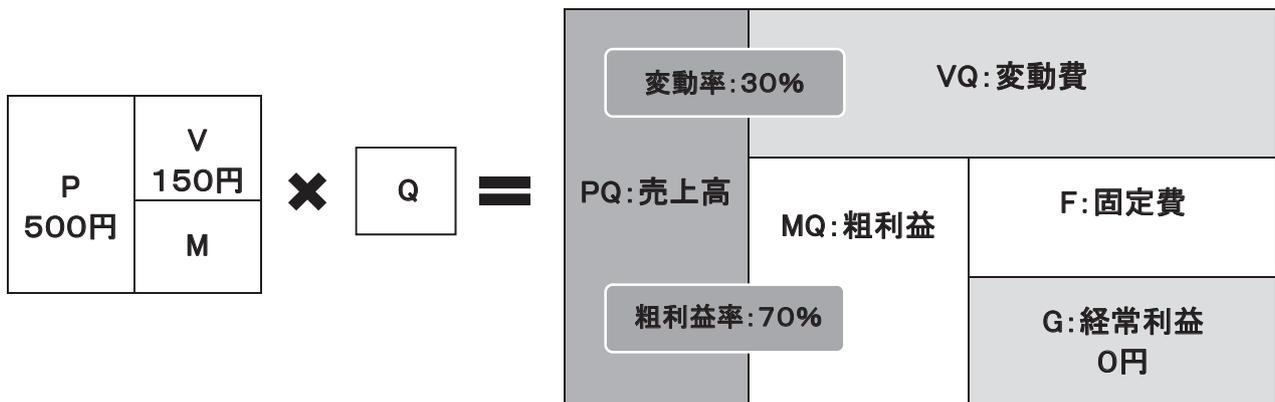
突然ですが質問です。田古(タコ)社長のお店「タコ山」では、『1日に何箱のたこ焼きを売らないと儲からないでしょうか?』
下の前提を基に考えてみてください。

【前提】

P(売上単価): 500円/箱 V(変動費(材料費)): 150円/箱
F(固定費(人件費など)): 14,000円/日

一見、難しそうに思われるかもしれませんが、『あきない会計図』を使えば、1日に稼がなければならぬラインを簡単に把握することができます!

図1: あきない会計図 タコ山の毎日の採算販売箱数



☆ここで、1日の儲かるラインを考える上で最初に注目するポイントはF(固定費)の14,000円です。F(固定費)はMQ(粗利益)から支払われます。そのため、タコ山では1日14,000円のMQ(粗利益)を稼がなければなりません。1日の稼がなければならぬMQ(粗利益)が分かれば、それを1箱あたりのM(粗利益)で割れば、1日の最低売らなければならぬ箱数が把握できます。

~タコ山が1日最低稼がなければならぬラインの算出方法~

◆手順1: タコ山で1日に最低必要なMQ(粗利益)

F(固定費): 14,000円 = MQ: 14,000円

◆手順2: タコ山で1日に最低必要なQ(売上数量)

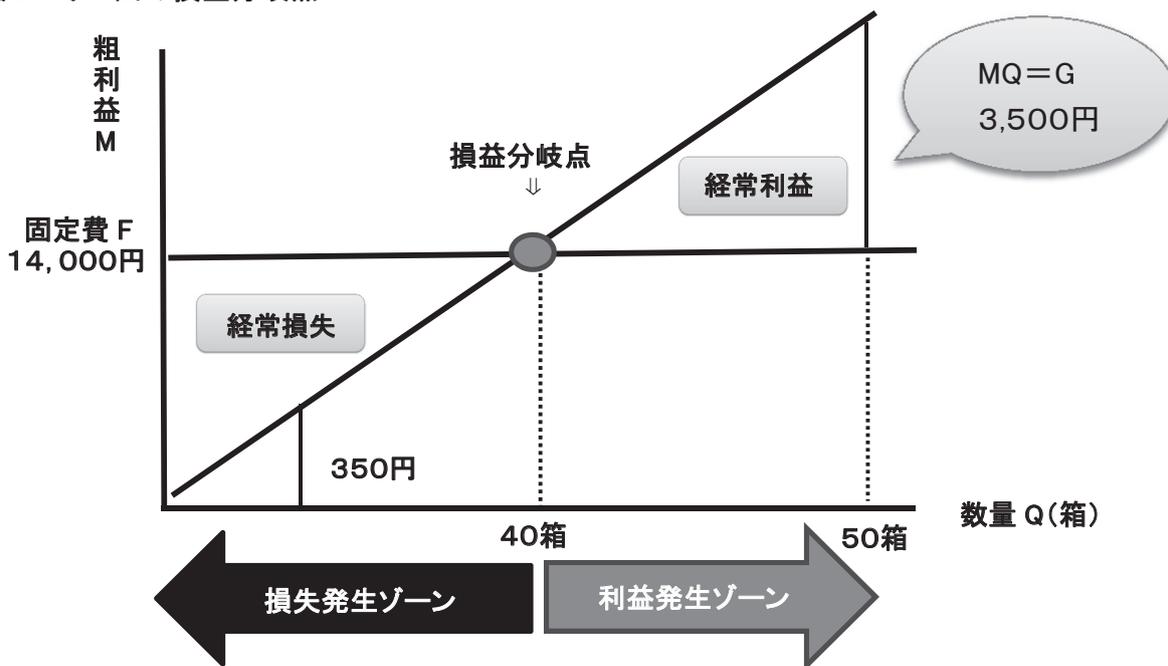
MQ: 14,000円 ÷ M: 350円 = Q: 40箱
(※M = P - V: 350円)

答えは40箱、図1のQに入る数字は40です。タコ山では1日41箱以上のたこ焼きを売らないと儲かりません。
 (※そのほかの数字 PQ=20,000円、VQ=6,000円)

この40箱の収支がトントンとなるラインを損益分岐点といいます。
 下の図2のように、タコ山では40箱まではMQ(粗利益)がF(固定費)の支払いで消えていきます。仮に毎日50箱売れば、40箱を超えた10箱分のMQ(粗利益)3,500円がすべてG(経常利益)となります。

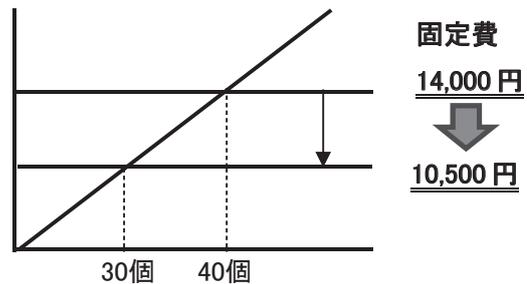
◆ $MQ = (50箱 - 40箱) \times 350円 = 3,500円 = G$

図2：タコ山の損益分岐点



もし現在のコロナ禍の状況で、売上が1日30個しか売れなければ……

- ①固定費を14,000円→10,500円に削減
- ②テイクアウトや配達をする(新業態)
- ③たこ焼きだけでなく、焼きそばも売る(新商品)



☆上記のように色々な戦略を考えていきましょう！

新！あきない☆会計塾～会計で中小企業を元気にする～ [第3講]

- 1日の儲かるラインを考える上で最初に注目するポイントはF(固定費)です。
- 損益分岐点を知るためには、F(固定費)を明確に把握することです。
- 損益分岐点を超えれば、超えた分のMQは全てGになります。

後継者教育に★分かるまで帰れない会計塾★URL：<http://www.senoo.net/kaerenai.html>



新！あきない☆会計塾・固定費の削減に関するお問い合わせ 塩冶(えんや) enya@hyogo-houjin.or.jp